

# 新幹線プレス



2023年 1月1日 No.603

発行者 杉澤秀則

編集者 教宣部

JR東海労新幹線地本

明けましておめでとうございます。昨年も、多くの取り組みに組合員・家族、そしてOBの皆さんにも参加いただき、あらためて感謝を申し上げます。

岸田政権は、安保関連3文書にみられるように軍事大国化と憲法9条改悪を一体で推し進め一挙に戦争のできる国づくりを完成させようとしています。私たちは、憲法改悪反対・日本の軍事大国化反対の旗を鮮明にして闘います。

会社は、私たちの職場における運動を圧殺させるために54歳原則出向を持ち出し運輸所の組合員を放逐してきました。それに抗して出向取り消し、本体復帰を勝ち取り、組合員による出向先での労働条件改善の闘いを通じて多くの前進を勝ち取り、そこで働く労働者との連帯をもつくり出しています。しかし、いまだ淵上さんは東京第二運輸所への復帰を果たしていません。引き続き地本全組合員で闘っていきます。さらに、会社によるいい加減な年休、勤務の扱いを変えるべく闘ってきた年休裁判は3月に判決が出されます。必ずや会社の年休取り扱いが「全くデタラメ」であることが満天下に明らかになります。さらに職場から声を出して改善に向けての闘いを強化します。

会社はリニア建設のための経費を生み出すために必死です。それが「業務改革」提案であり相次ぐ効率化＝要員削減は加速の一途をたどり、賃金削減、関連会社への経費節減をもたらします。即刻中止すべきです。

私たちは関連会社を含む全労働者の声を代表して果敢に闘いを展開します。今年も多くの闘いに挑まなければなりません。すべての闘いを組織強化・拡大に結実するために奮闘しようではありませんか！

会計監査	〃	〃	〃	特別執行委員	総務・教宣部長	企画・組織部長	書記	〃	〃	〃	〃	〃	執行副委員長	執行委員長	
川本	木村	今城	永井	成田	平山	水野	田村	伊藤	綿貫	廣瀬	板倉	滝波	土川	小林	杉澤
正行	良夫	敬一	晃	隆浩	裕一	良則	浩彰	一也	均	哲也	晋	武	節夫	正明	秀則

新年あけましておめでとうございます。本年もよろしくお願いいたします。

コロナで不自由な行動制限の中、本部及び各地本の皆様の闘いに感謝の気持ちを伝えると共にこれからも東京車両所分会は連帯し奮闘していきます。昨年より54歳原則出向を利用した運輸所を中心とした組織破壊に対し出向先会社の問題点改善の闘いを通じての団結、足元を見据えた闘いを継続することで信頼と連帯を強めていくことが大切と感じています。

今年もコロナの状況は先が見えませんが、問題だらけのリニアなど、職場では社員の不満の声がいたる所から噴出してくると思われる情勢です。車両所分会は社員の不安、不満に耳を傾けより良い環境づくりのため、奮闘していきます。

東京車両所分會執行委員長 板倉 晋

明けましておめでとうございます。

年休裁判は2017年11月に提訴して5年が過ぎ、ようやく本年3月16日に判決を迎えることになりました。「毎年、年休を流して黙っていられるか」との思いで提訴しましたが、裁判の過程で年休は会社から与えられて貰うものではなく労働者の権利という本質を様々な先生から学びました。会社の年休に対する考えを改めさせるために勝利しなければいけません。

また、淵上さん運輸所復帰裁判について会社の理不尽な人事の取り扱いを許さないために淵上さんの思いを共有して闘っていかねばいけません。働きやすい職場を築くために、共に頑張りましょう。

本年もよろしく願います。

東京運輸所分會執行委員長 広瀬哲也

明けましておめでとうございます。

プライム会議は、33名の会員で、出向先の労働条件改善と、会員相互の交流を深める活動をしています。昨年は、これまで関連会社と行っていた団体交渉の枠を広げ、組合員が出向している警備会社、三者との団体交渉も開催しました。

JRやその関連会社は、一応労基法に抵触しないような協約を各組合と締結していましたが、一般の企業は、ときに労基法を度外視した就労をさせることがあります。これまで、あまり意識していなかった労組法を改めて勉強しながら各会社との交渉に臨まなくてはなりません。

今年も闘いながら、われわれ自身を成長させ、JR東海労働の発展の為に奮闘します。共に闘いましょう！！

新幹線地本プライム会議々長 成田隆浩

新年あけましておめでとうございます。

昨年来の新型コロナウイルス感染症オミクロン株が蔓延し第8波となり多くの感染者が発生しております。今年こそは新型コロナウイルス感染症が終息することを願うばかりです。会社は突如10月31日に業務改革と称する施策を発表し、11月には各職場で説明会が開催されました。800億円の経費削減、乗務員の作業分担変更等の説明がありましたが、何ら具体的な説明はされず社員には今後どうなるかの不安と動揺が現れています。業務改革は効率化を実施する前にリニア建設の見直しを実施すべきです。

地区分会は微力ながら本部、地本と連携して職場諸要求の実現、働きがいのある職場づくりのため奮闘していきたいと思えます。本年もよろしく願います。

東京地区分會執行委員長 綿貫 均

組合員の皆さんと共に！ 壮心は已まず！

新しい年を迎えました。しかし、取り巻く情勢は「一陽来復」ではなく「暗雲来災」のような状況です。政府は専守防衛の原則を大転換し、防衛費は過去最大でトマホークの爆買いです。原発政策も「脱原発依存」の旗を投げ捨て大転換を発表しました。このようなことが許されていいのでしょうか。

年金暮らしの生活は物価高騰で苦しくなっています。来年度の年金は1.8%増額すると言われていますが物価上昇には追い付かず目減りします。私たちは今年も積極的に裁判や反戦平和の取り組みを組合員の皆さんと共に取り組む決意です。「労働は権に伏すも 志は千里に在り 烈士は暮年になるも 壮心は已まず」（曹操・三国魏より）

新幹線地本OB会事務長 南波啓一